



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下 節生
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR部長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績 (2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	36,552	△21.9	989	△79.8	1,028	△83.1	324	△90.6
2020年6月期第1四半期	46,775	△24.2	4,897	△43.5	6,076	△32.3	3,443	△43.4

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 50百万円 (△98.8%) 2020年6月期第1四半期 4,182百万円 (63.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	6.59	—
2020年6月期第1四半期	69.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	277,064	156,433	54.2
2020年6月期	282,350	161,093	54.6

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 150,265百万円 2020年6月期 154,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	—	—	80.00	80.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想 (2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	78,000	△19.4	5,500	△34.5	6,000	△39.7	3,900	△49.9	79.19
通期	165,000	△11.0	15,000	△6.0	16,000	△11.4	10,000	△7.1	203.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	49,355,938株	2020年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	108,718株	2020年6月期	108,718株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	49,247,220株	2020年6月期1Q	49,279,129株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2020年6月期 第1四半期	2021年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	35,174	31,225	△11.2%
売上高	46,775	36,552	△21.9%
営業利益	4,897	989	△79.8%
経常利益	6,076	1,028	△83.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,443	324	△90.6%

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的流行の影響により制限を受けた経済活動の段階的な再開や各国の経済対策により持ち直しの動きがみられますが、感染再拡大や米中貿易摩擦など先行き不透明感は拭いきれず、

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界においては、5Gの普及とともにスマート社会の実現に向けた投資の活発化に対する期待が高まる一方、新型コロナウイルスや米中貿易摩擦の影響で新規投資に対する様子見姿勢もみられました。こうしたなか、エレクトロニクス分野の国産化を進める中国での投資の動きが足元で活発化してきております。フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、大型液晶パネル投資の大型商談が一段落しており、有機ELパネル投資は大型基板の量産開発への取組みがみられるものの一時的な調整局面にあります。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高は312億25百万円(前年同期比39億49百万円(11.2%)減)、売上高は365億52百万円(同102億23百万円(21.9%)減)となりました。また、損益につきましては、営業利益は9億89百万円(同39億8百万円(79.8%)減)、経常利益は10億28百万円(同50億49百万円(83.1%)減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、3億24百万円(同31億19百万円(90.6%)減)となりました。

当社は世界各地で事業を展開しており、新型コロナウイルスの世界規模での拡大に伴う各地への移動制限などにより、当社グループの事業に一部影響が出ておりますが、状況に応じて必要な対策を講じることでその影響の最小化に努めております。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2020年6月期 第1四半期	2021年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	27,286	24,096	△11.7%
売上高	39,934	29,895	△25.1%
営業利益	4,648	1,101	△76.3%

真空機器事業を品目別に見ると次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置は、大型液晶パネル投資の大型商談が一段落し、スマートフォン用有機ELパネル投資も一時的な調整局面にあることから、受注高は低い水準となり、売上高も前年同期を下回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、メモリ向け・ロジック向けともに当期の受注高は前年同期並みを見込むものの、当四半期は一時的な端境期となり、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。電子部品関連は中国での投資の動きが活発化しておりますが、移動制限の影響もあり、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

(コンポーネント)

コンポーネント関連は、有機EL製造装置に搭載するクライオポンプや真空ポンプ、計測機器などが減少し、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置などが寄与し、受注高は前年同期を上回りましたが、売上高は前年同期を下回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は240億96百万円、受注残高は562億14百万円、売上高は298億95百万円となり、11億1百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2020年6月期 第1四半期	2021年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	7,889	7,129	△9.6%
売上高	6,841	6,657	△2.7%
営業利益	239	△34	-

真空応用事業を品目別に見ると次のとおりです。

(材料)

主にFPD用スパッタリングターゲットを中心に受注高は前年同期を上回り、売上高は前年同期並みとなりました。

(その他)

高精細、高機能ディスプレイ向けマスクブランクス関連や表面分析機器関連が減少し、受注高は前年同期を下回りましたが、売上高は前年同期並みとなりました。

その結果、真空応用事業の受注高は71億29百万円、受注残高は55億99百万円、売上高は66億57百万円となり、34百万円の営業損失となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、52億86百万円減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が89億円減少した一方で、現金及び預金が28億44百万円、たな卸資産が27億50百万円それぞれ増加したことなどによります。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、6億26百万円減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が24億21百万円、短期借入金が5億13百万円それぞれ減少した一方で、長期借入金が17億62百万円増加したことなどによります。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、46億60百万円減少となりました。主な要因は、利益剰余金が36億24百万円、その他の包括利益累計額が3億65百万円それぞれ減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少などのプラス要因に対し、たな卸資産の増加、仕入債務の減少などのマイナス要因により、75億63百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の払出による収入、有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、6億70百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払などにより、36億11百万円の支出となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、48億23百万円増加し、827億71百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、前回公表値(2020年8月11日)の見通しを変えておりません。

(注)この決算短信で述べている将来の当社に関する見通しは、現時点で把握しうる情報をもとに作成したものです。当社グループの主要取引先であるFPD、半導体及び電子部品業界は、特に技術革新のスピードが大変速く、かつ、競争の激しい産業です。また、世界経済、為替レートの変動、原材料価格、FPD、半導体及び電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的、間接的に影響を与える様々な外部要因があります。従いまして、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載している予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,694	83,538
受取手形及び売掛金	66,702	57,802
商品及び製品	3,883	3,906
仕掛品	21,004	23,128
原材料及び貯蔵品	10,217	10,821
その他	6,903	6,522
貸倒引当金	△419	△773
流動資産合計	188,985	184,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,115	28,950
機械装置及び運搬具(純額)	19,312	18,452
工具、器具及び備品(純額)	1,638	1,620
土地	8,344	8,274
リース資産(純額)	2,567	2,464
建設仮勘定	4,213	4,793
有形固定資産合計	65,189	64,552
無形固定資産		
リース資産	53	49
ソフトウェア	973	1,208
その他	2,251	2,053
無形固定資産合計	3,278	3,310
投資その他の資産		
投資有価証券	11,869	10,872
繰延税金資産	6,108	6,648
その他	9,343	8,454
貸倒引当金	△2,422	△1,717
投資その他の資産合計	24,898	24,257
固定資産合計	93,365	92,119
資産合計	282,350	277,064

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,439	29,018
短期借入金	11,266	10,753
リース債務	666	658
未払法人税等	1,340	1,378
前受金	11,569	11,344
賞与引当金	2,686	3,533
役員賞与引当金	372	71
製品保証引当金	1,672	1,387
受注損失引当金	1,323	1,304
その他	9,952	10,713
流動負債合計	72,285	70,160
固定負債		
長期借入金	38,577	40,339
リース債務	1,999	1,929
繰延税金負債	27	24
退職給付に係る負債	7,363	7,229
役員株式給付引当金	156	155
資産除去債務	402	403
その他	447	391
固定負債合計	48,972	50,471
負債合計	121,256	120,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	126,571	122,947
自己株式	△349	△349
株主資本合計	151,007	147,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,301	4,508
為替換算調整勘定	△572	△207
退職給付に係る調整累計額	△1,482	△1,420
その他の包括利益累計額合計	3,246	2,882
非支配株主持分	6,840	6,169
純資産合計	161,093	156,433
負債純資産合計	282,350	277,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	46,775	36,552
売上原価	34,707	27,160
売上総利益	12,068	9,391
販売費及び一般管理費	7,171	8,402
営業利益	4,897	989
営業外収益		
受取利息	44	22
受取配当金	167	229
持分法による投資利益	101	91
その他	1,055	459
営業外収益合計	1,366	802
営業外費用		
支払利息	93	133
その他	94	630
営業外費用合計	187	763
経常利益	6,076	1,028
特別利益		
投資有価証券売却益	62	—
特別利益合計	62	—
特別損失		
減損損失	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	6,134	1,028
法人税、住民税及び事業税	1,504	884
過年度法人税等	589	—
法人税等調整額	404	△237
法人税等合計	2,498	647
四半期純利益	3,637	381
非支配株主に帰属する四半期純利益	193	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,443	324

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,637	381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,034	△797
為替換算調整勘定	△1,390	355
退職給付に係る調整額	56	62
持分法適用会社に対する持分相当額	△154	48
その他の包括利益合計	546	△331
四半期包括利益	4,182	50
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,091	△41
非支配株主に係る四半期包括利益	91	91

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,134	1,028
減価償却費	1,879	2,018
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,366	△375
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,308	850
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△37	△45
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△75	—
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△9	△1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1	△288
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△87	△19
受取利息及び受取配当金	△210	△251
支払利息	93	133
投資有価証券売却損益 (△は益)	△62	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,807	9,062
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,915	△2,967
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,788	△2,857
前受金の増減額 (△は減少)	1,782	△311
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△853	△45
その他	4,140	2,945
小計	6,739	8,877
利息及び配当金の受取額	265	248
利息の支払額	△106	△135
法人税等の支払額	△3,387	△1,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,511	7,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△487	△201
定期預金の払戻による収入	2,137	2,182
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,155	△1,431
投資有価証券の売却による収入	95	—
その他	△53	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462	670
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	875	24
長期借入れによる収入	—	3,700
長期借入金の返済による支出	△1,984	△2,516
配当金の支払額	△4,955	△3,785
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	△812	△1,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,876	△3,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△383	201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,209	4,823
現金及び現金同等物の期首残高	55,859	77,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,649	82,771

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,934	6,841	46,775	—	46,775
セグメント間の内部売上高 又は振替高	862	325	1,187	△1,187	—
計	40,796	7,167	47,962	△1,187	46,775
セグメント利益	4,648	239	4,887	10	4,897

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,895	6,657	36,552	—	36,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	773	337	1,110	△1,110	—
計	30,668	6,994	37,662	△1,110	36,552
セグメント利益又は損失(△)	1,101	△34	1,066	△77	989

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	29,895	74.9
真空応用事業	6,657	97.3
合計	36,552	78.1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	12,068	40.4
半導体及び電子部品製造装置	7,847	26.2
コンポーネント	5,984	20.0
一般産業用装置	3,996	13.4
計	29,895	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	3,221	48.4
その他	3,436	51.6
計	6,657	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。